



校報 西栗栖

令和5年度 9月 1日号

学校ホームページ URL
<http://nishikurusuysyo.tatsuno.ed.jp/>

2学期のスタートです

とても暑い夏休みでした。2学期もしばらくは暑い日が続くことが予想されます。暑さに負けず、健康に気をつけて過ごせるといいですね。

夏の思い出をありがとうございました

昨年度の民推協分科会で本校 PTA の取組を報告いただいた際、他の地域では、活動の精選と称して、行事をなくすばかりで、子どもの楽しみが少なくなっていることを憂う方がおられました。本校においては、今年の夏も、PTA 主催での夏祭りが開催されました。風船割り、肝試し、打ち上げ花火、子どもたちがふるさとの温もりを感じる思い出となったことでしょうか。役員さんをはじめ、お世話いただいたみなさん、ありがとうございました。



【9月の主な行事】

- 1 金 始業式
- 5 火 給食開始、身体測定、委員会活動
- 7 木 わくわくお話宅急便
水生生物調査（3・4年）
- 8 金 ～12 火 自然学校（5年）
- 11 月 学級費振替日
- 13 水 ～14 木 自然学校代休（5年）
- 19 火 クラブ活動
- 21 木 アイマスク体験（3・4年）
- 22 金 高齢者疑似体験（3・4年）
- 26 火 参観日、車いす体験（3・4年）
- 27 水 栗拾い
- 28 木 手話体験（3・4年）

人権まなびい

男女参画平等達成度
足踏み JAPAN

世界経済フォーラム（WEF）が各国の男女平等度を順位付けした「男女格差（ジェンダー・ギャップ）報告」を発表しました（6/21）。日本は調査対象の146カ国中125位でした。先進7カ国（G7）ではイタリアの79位に大きく引き離され、東アジア・太平洋地域でも最下位でした。報告は政治、経済、教育、健康の4分野について、男女参画の平等達成度を指数化されたものです。日本は、政治で138位、経済で123位となり、女性進出が実現していない深刻な状況です。女性首相が誕生していない、議員・閣僚に占める女性の割合が少ない、収入格差や女性管理職の少なさが指摘されています。一方で教育、健康の分野では、ほぼ平等が達成されているそうです。

全体では、アイスランド、ノルウェーなどの北欧諸国が上位を占め、東アジア・太平洋地域ではニュージーランドが4位になっています。政治分野で日本より下位に位置するのはイスラム教徒が多く女性の社会進出に消極な国や、クーデターなど国政が不安定な国などです。経済分野でも日本より下位なのはインド、トルコなどの新興国ばかりです。G7各国の経年変化を見ると、WEFが公表を始めた2006年当時はフランスやイタリアも日本と同水準でしたが、右肩上がりです。他国が改善への努力をするなか、日本だけが変わっていない状況であり、日本の「非先進国」ぶりが際立っています。

教育分野においては、ほぼ平等で47位でしたが、大学などの高等教育の就学率が105位であり、格差は小さくありません。大学進学率は地域差も大きく、都市部では男女とも進学率は高い傾向にあります。大半の地域では女子は男子より低い状況です。学びの平等を実現することで女性リーダーが育ち、政治や経済の変革につながると言われています。人口の半分にあたる女性が、能力を發揮する機会を増やすことで、国際社会における日本の競争力を高めることが期待されています。

「女だから、男だから、」といった決めつけをなくすことが、その第1歩になると思います。